

新たな価値の創造を担う 日本工業大学の 高い研究力!

2022年4月 **Topics!**
データサイエンス学科が
スタートしました

NIT Open Campus
日本工大には、ここでしか得ることができない
さまざまな魅力があります。
オープンキャンパスでは是非その魅力を体感してください
8.27(土)・28(日) 9.10(土)
※詳細は本学Webサイトをご覧ください

- 基幹工学部**
 - ・機械工学科
 - ・電気電子通信工学科
 - ・応用化学科
- 先進工学部**
 - ・ロボティクス学科
 - ・情報メディア工学科
 - ・データサイエンス学科
- 建築学部**
 - ・建築学科
 - 建築コース
 - 生活環境デザインコース

日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <https://www.nit.ac.jp>

大宮から **29分** 新白岡駅まで
JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で
17分 + スクールバス 12分

北千住から **44分** 東武動物公園駅まで
東武スカイツリーライン (急行) で
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

荒川 俊也 (先進工学部 データサイエンス学科 教授)

研究は、その成果を社会で活用してもらうことが重要だ。津波被害を受ける可能性が高い自治体とも協働し、地域防災への活用の可能性を探っている。助かる人、救える命を増やすため、「もしも」の前の準備をもっと、もっと進めたい。

元々自動車メーカーにいた私は、交通シミュレーターを使って様々な「もしも」を想像してきた。これまでに得た知見に加え、実際に津波避難をした人の経験や、避難時のデータを反映し、津波という「もしも」に備える研究を続けている。

私は今、津波避難時の「危険予知トレーニング」について研究を進めている。作りたいのは「誰でもいつでもどこでも使えるトレーニングシステム」だ。

災害時にとるべき行動は、いる場所や状況、時間帯で変わる。しかし、どう変わるかは災害を経験していない人には、正直わからない。頻度が低い津波という災害であれば、なおさらだ。

2011年3月。私たちは未曾有の大地震、そして大津波を経験した。この経験は、次に必ず来るその時に備える。財産に変えねばならない。

「もしもの時」に、あなたはどう動く!? 津波発生時の 危険予知トレーニングシステムの開発



Webで
動画を公開中!
NIT トレインラボ
で検索 🔍

先進工学部 データサイエンス学科 人間-機械協調系研究室

TRAIN LABO NO. 37